



NIPPON GOOD PARTS NGP NEWS

2016 No.307

10

月号

全国整備工場の皆様へNGP 組合員 200 拠点がお届けするお役立ち情報

NGP 協同組合、組合員101社が ISO27001の認証を一括取得

品質、環境に加え情報セキュリティでもさらなる「安心」を皆様にご提供します

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（以下、NGP協同組合。佐藤幸雄理事長）と同組合員142社のうち101社は9月26日、情報セキュリティマネジメントシステム（以下、ISMS）の国際認証規格・ISO27001の一括合同認証を取得しました。

NGP協同組合ではかねてより、マネジメントシステムの認証取得を積極的に推進しており、ISO9001品質マネジメントシステムの認証を2007年9月にNGP本部が、ISO14001環境マネジメントシステムの認証をNGP組合員各社が個別に取得しています。

2015年9月には、両規格が同月に大幅改定されたことに合わせ、ISO9001と同14001について、NGP本部が全組合員を統括する「一括合同認証」という形式で、NGP本部及び同組合員70社が認証を取得しました。

なお、この際に、全組合員共通のマニュアル（統合システム）を、各種帳票のペーパーレス化などで大幅に簡素化しつつ、自動車リサイクル事業の実務に即した実効性の高いシステムを構築し、以後運用を続けています。

そして今回、ISO27001の取得に合わせ、ISO9001と同14001も、従来からの70社に31社を加えた計101社のNGP組合員が、一括合同認証を取得しました。品質、環境、情報セキュリティ、3つのマネジメントシステムを一括合同認証の形式で取得するのは、自動車リサイクル業界では初めてのこととなります。

認証取得を主導したNGP協同組合の胡定晃環境委員長は、「使用済み車両の不足及び相場高騰、素材スクラップ相場の暴落など、市場環境が急激に厳しくなっている中で、取引先を増やし仕入れ・生産・販売を拡大していくに当たり、ISMSの取得は取引先から私

ちが選ばれるうえでの前提条件となっ
ています。従来からの品質と環境に加え、新たに情報セキュリティのマネジメントシステム認証を、低コストかつ実効性の高い形で取得し運用することで、カーオーナーから整備・修理工場、損保・リース会社まで、皆様がより安

心して私たちとお取引いただけるよう努めて参ります。また、残りのNGP組合員についても1社でも多く、1日でも早く各認証を取得するよう働きかけていきます」と、その狙いと今後の意気込みを話しています。

ISO27001 情報セキュリティマネジメントシステムの 構築及び運営ステップ

Step 1：業務の情報資産の洗い出し（リストアップ）

紙の書類・記録、音声・画像情報、コンピュータの中のデータ、コンピュータ設備、コンピュータソフトウェア、ネットワーク設備など、業務に関するあらゆる情報群が対象で、これらをリストアップすることで業務情報の「見える化」を図る

Step 2：情報資産の業務の流れに沿って、場面ごとの脆弱性を評価《CIA分析》

洗い出した情報資産ごとに、機密性（管理：Confidentiality）、完全性（保護保全：Integrity）、可用性（合理的な利用を可能とする：Availability）を評価する

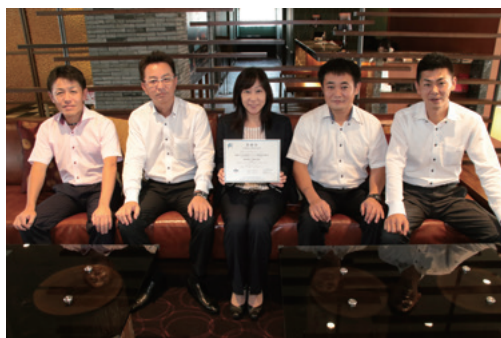
Step 3：業務の場面ごとの脆弱（ぜいじゃく）性を克服するための対策を定義

分析したリスクを認識し、それを克服するための具体的な施策（外来者立ち入り禁止ゾーンの設定、キャビネット施設、コンピュータのウィルス対策・パスワードなど）を定義付ける

Step 4：脆弱性対策実施後にのこる残留リスクを認識し、業務手順・教育へ反映

リスク対策を施しても、どうしても残る残留リスクを組織全体で認識し、手順化、教育訓練でそのことを周知・認識する

これらのことをISOマネジメントシステムのPDCA（計画・実施・検証・改善）の枠組みで合理的に運営



NGP 協同組合の藤原庸正理事（左端）、胡定晃・環境委員会委員長（左から2人目）、斎木崇司・同副委員長（右から2人目）、岸本恭秀・同書記（右端）と、第三者認証機関である NSF-ISR ジャパンの吉井法美氏（中央）



ISO27001の認証取得
を示す登録証

国交省、「自動車整備技術の高度化検討会」報告書を公表 普通・小型・軽自動車はASV・HV・ISS、 重量車はポスト新長期規制を最優先に対応

国土交通省は8月25日、2015年9月から2016年8月にかけて計4回開催された「自動車整備技術の高度化検討会」の報告書を公表しました。

同検討会は、2015年1月に取りまとめられた「自動車関連情報の利活用に関する将来ビジョン」で、「安全OBDに対応したスキャンツールの共通化を通じた次世代車両等の安全使用の推進」が重点テーマに掲げられたことを踏まえ開催されたものです。主に、普及が進む衝突被害軽減ブレーキなどのASV（先進安全自動車）技術を適切かつ効果的に点検整備できる汎用スキャンツールの活用・普及促進と、そのために必要なメカニクの技術力向上などの人材育成について議論されました。

報告書ではまず、整備事業者を対象として2015年11月に実施されたアンケート結果の詳細が示されました。同アンケートによると、全業態合計でのスキャンツール保有率は82%でした。なお、これに実際の認証・指定工場数を乗じて比例換算して得られたスキャンツール保有率の推計値は78%で、そのうちデータモニタやアクティブテストなどの機能を備えた多機能機は68%となっています。

多機能型スキャンツールの利用状況については、修理依頼時の故障診断に使用している事業者が84%にのびりましたが、車検・点検時に無料メニューとして実施している事業者は20%で、有料メニューとして実施して

いる事業者は9%に留まりました。

そして、汎用スキャンツールに追加してほしい診断機能について質問したところ、ハイブリッドシステムが69%、ASV関連機能（ESCを除く）が47%、車体制御が38%の順に、多くの回答者が必要としていました。さらに、スキャンツールの購入希望機種について尋ねたところ、「全システム自動車メーカー純正機並み」を求める事業場は全体で46%、スキャンツール保有者では59%にのぼり、未保有でも32%に達しています。

汎用スキャンツール標準仕様の要件拡大については、車両総重量3.5t以下の普通・小型・軽自動車と、同3.5t超の重量車（大型トラック・バスなど）に分けて、整備事業者アンケート及び整備事業者からツールメーカーに寄せられた要望を元に検討されました。

その結果まとめられた新たな標準仕様案は別表の通りですが、普通・小型・軽自動車では、整備事業者から要望が多かったISS（アイドリングストップシステム）、HV（ハイブリッド車）システム、ASVの前方センシングデバイスについて、2016年度末までに各カーメーカーが情報を提供し、2017年度中にその情報を反映したスキャンツールを開発する方針を示しています。特にこれらのダイアグコード読取・消去及び作業サポートについては先行して開発し、フィジビリティスタディ（実現可能性調査）を実施する計画です。

重量車では、エンジン系の完全サポートを最優先に対応するという観点から、平成22年排出ガス規制（ポスト新長期規制）適合車のディーゼルエンジン排気ガス抑制について、2016年度末までに各カーメーカーが情報を提供し、2017年度中にその情報を反映したスキャンツールを開発することになりました。なお、普通・小型・軽自動車で最優先に位置付けられたアイドルストップ、ハイブリッド、前方センシングデバイスについては、重量車に関し現時点では要望が少ないことから、今後の検討課題となっています。

人材育成については、各整備事業者のニーズ及びレベルに応じた研修を全国で実施できる体制の構築が必要という観点から、「スキャンツール活用研修（応用研修）」の内容よりもさらに高度な故障診断・整備技術を習得する「ステップアップ研修」、「スキャンツール活用研修（応用研修）」レベルの内容を継続的に行うことで技術力の維持を図る「フォローアップ研修」、近年実用化された自動車の新機構・新装置の構造・機能制御方法などを習得する「新技術研修」の3種類が、2016年4月より新たに開始されました。

2016年度以降の検討項目・課題としては主に、前述のフィジビリティスタディのほか、欧米でのスキャンツール活用実態調査、前方センシングデバイスを中心とした整備環境の充実、電動パワートレインの高電圧使用部位を安全に整備するための人材育成体制充実が挙げられています。

【新たな標準仕様案＜車両総重量3.5 t 以下＞】

機能 対象システム	DTC 読取・ 消去	作業 サポート	データ モニタ	フリーズ フレーム データ	アクティブ テスト	リリース 時期
ガソリンエンジン 排気ガス抑制	○	○	○	○	○	現在の 標準仕様
ABS/ESC、EPS	○	○	○	○	○	
エアバッグ	○	○	○	○	—	
アイドルストップ	○	○	○	○	○	H29年度
ハイブリッド	○	○	○	○	○	H29年度
前方センシング デバイス（ACC、 被害軽減ブレーキ）	○	○	○	○	○	H29年度
タイヤ空気圧監視	○	○	○	○	○	H30年度
オートエアコン	○	診断の対象と機能の調査・検討が必要				H30年度

拡大
部分

【新たな標準仕様案＜車両総重量3.5 t 超＞】

機能 対象システム		DTC 読取・ 消去	作業 サポート	データ モニタ	フリーズ フレーム データ	アクティブ テスト	リリース 時期
ディーゼル エンジン 排ガス抑制	新長期	○	○	○	○	○	現在の 標準仕様
	ポスト 新長期	○	○	○	○	○	H29年度
トランスミッション		○	○	○	○	○	H30年度
ABS/ESC		○	○	○	○	○	H30年度
エアバッグ		○	○	○	○	—	H30年度
アイドルストップ		検討中					
ハイブリッド							
前方センシング デバイス（ACC、 被害軽減ブレーキ）							
オートエアコン		未定					

検討中の部分は、今後診断対象となる機能等の調査・検討が必要

第11回初級生産管理者・フロントマン研修会、第26回初級営業マン研修会開催

“お客様第一!” 実践のための知識・技術・心構えを体得



初級営業マン研修会では、取引先工場の社長へ携帯電話で連絡することを想定した電話応対ロールプレイングを、受講生のスマートフォンを用いて実施



「クレームから逃げればトラブルに発展し解決不可能になる」と、迅速かつ誠実な対応がクレーム解決のカギとなることをフロントマンに説く白石智也講師



「車台番号・グレード・オプション有無などによって異なる装備を正確に商品登録すればしっかり売れていく」と生産管理者に助言する石井恒治講師

第11回初級生産管理者・フロントマン研修会及び、第26回初級営業マン研修会が9月15～17日の3日間、BumB（ぶんぶ）東京スポーツ文化館（東京都江東区）で開催されました。

生産管理者23名、フロントマン15名、営業マン3名の計41名が受講し、まずは生産・フロント・営業合同で、NGPの理念やNGP各委員会の取り組み、自動車リサイクル部品業界の動向について学びました。

その後、生産管理者とフロントマンはNGPシステムの基礎知識と運用ルールを学習しました。営業マンはCS（顧客満足度）や苦情、購買動機に関する講義「商いの心」を受講し、「物を買ってなんだろう。サービスを受けるってなんだろう」をテーマにしたグループディスカッションを実施しています。

2日目と最終日は部門ごとに分かれ、生産管理者はリサイクル部品商品化システムの流れ、品質基準の統一化、商品定義、車両入庫マニュアルの詳細を学習し、品質管理と商品登録を正確かつ厳格に行うことの大切さを学びました。

フロントマンは基本理念、お客様対応の基本とポイントを学んだのち、受注納品管理帳表から自身の販売動向を分析して、弱みや問題点を発見しました。さらに受注から商品の納品、売上計上までのシミュレーションをしています。

営業マンは名刺交換、身だしなみ、接客、電話応対、報・連・相など営業マナーを実践

形式で学び、自動車整備業界の構造や動向について学習しました。最終日には営業会話のスキルも習得しています。

3日目の修了式では、「常に“お客様第一!”を念頭に置き、届いた商品を見たお客様が笑顔になるようなリサイクル部品を生産します」（株）ナカスジオオートパーツ、和田泰朋さん）、「再度お客様からご購入いただけるよう、販売からアフターフォローまで心を込めて対応します」（株）アシスト・フクダ、福田秀太さん）、「解体業への固定観念を覆す接客、言葉遣いを社内徹底し、来社されたお客様へ感動を与えられる会社を目指します」（株）茨城オートパーツセンター、江崎誠さん」と、NGP三大信条の一つである“お客様第一!”を実践する決意を表明しました。

同研修会終了後の感想として、メタルリサイクル(株)パーツセンターの中根裕司さん

は「形状や程度の説明、写真の撮り方次第で、売れる商品が売れない商品になってしまうことに気がきました。指示書に記載されたものだけではなく、売れそうだったものは必ず調べ、自ら進んで商品化します」、(株)パーツラインの松尾礼乃さんは「NGPの在り方や心構えを振り返ることができた3日間でした。より効率良く無駄なく業務ができるよう自社の環境を改善するとともに、初心に返りお客様に対する姿勢を見直します」、(有)ジーパーツの栗原博之さんは「営業会話のロールプレイングを繰り返すことで、営業で成功するために必要な知識やテクニックを学ぶことができました。それを日々の業務で実践して、お客様のニーズを実現し感動を与えられる営業マンを目指します」と話し、お客様に喜ばれ自社の収益も高めるための知識と技術、心構えを体得しています。

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成28年8月: **2,967t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成28年8月: **8.1t**

※1自動車リサイクル部品産業共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の50部品（左右ある部品を含むと64部品）を対象に算出した数値です。

※2リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP 第13期戦略会議を開催

解決すべき3つのテーマの具体策を4班に分かれ議論

8月24～26日の3日間、NGP執行部の理事、委員長、顧問、相談役が宮島グランドホテル有もと（広島県廿日市市）に集まり、第13期戦略会議を開催しました。

会議では各支部担当理事及び各委員会委員長が4班に分かれ、近年大きな課題となっている「リサイクル部品市場の拡大」、「車両仕入れの強化」、「次世代人材の育成」をテーマ

として、第13期で実行すべき具体策を考案するグループディスカッションを行いました。

最終日の26日に設けられた発表の場では、2日間の議論を経て煮詰められた具体策を、各班の代表がいずれも熱の入った口調で力強く説明しました。それを傾聴した他の執行部メンバーがその情熱に呼応して積極的に質問や意見を投げかけることで、各案をより具体



的かつ実効性の高い事業計画へと洗練させています。

第44回初期指導研修会を開催

8年ぶりの新規正組合員入会(有)ポプラがNGP魂を体得

通算44回目となる初期指導研修会が8月18・19日の2日間、BumB（ぶんぶ）東京スポーツ文化館（東京都江東区）で開催されました。

（有）ポプラ（茨城県那珂市）の吉澤慎一社長を含む同社スタッフ9名が参加した同研修会には、主催する組織指導委員会の青木金也理事、藤村博志委員長、遠藤一人書記、多久島康彦委員が指導に当たりました。

さらに、佐藤幸雄理事長、小林信夫副理事長、多田幸四郎顧問も出席し、それぞれ初期指導研修会を受講した際のエピソードを交えつつ、加入後に先輩組合員の教えを受けながら自社が成長していった経緯、また教えを受けた恩を後輩組合員の指導を通じて返すという伝統を講話しました。

研修会ではNGP協同組合の歴史・基本理念・組織体系、フロント及び生産業務の重要

ポイント、（株）NGPの事業内容について説明を受けたほか、商品管理委員会の平田武士理事よりNGPの商品品質、売上目標の立て方について学びました。そして両日の日中は、気温も湿度も高い残暑の中、挨拶・ラジオ体操・暗記試験など、基礎研修会と同様の厳しい訓練が行われ、“揃える”ことの大切さを体得しています。

吉澤社長は研修会修了後、「初日は大丈夫だろうかという不安もありましたが、2日目は“やるぞ!!”という気持ちになりました。全員で“揃え”ようと、これまでになかった行動をし、そして大声を出すことで、自信を持てるようになりました」と2日間を振り返りながら、「これまでは、頭では分かっていたても実際には何もできないことが多く、非常にレベルの低い会社だったと思います。これからは、できていなかったことを確実に実行



「NGPの厳しさだけではなく素晴らしさも理解し学んでほしい」と受講生に話す佐藤幸雄理事長



挨拶訓練では吉澤慎一社長も厳しい指導を受け、社員の気持ちを“揃える”ことの大切さを体得

し、最低限の挨拶をするのはもちろん目標を明確に設定して、以前の当社を知る人がすぐ変化に気付くほど、元気な雰囲気へと会社を変えていきます」と決意を表明しています。

新規入会組合員紹介

支部	会社名	代表者	住所	電話番号	FAX番号	加入日
北関東支部	有限会社 ポプラ	代表取締役 吉澤慎一	茨城県那珂市豊喰320-1	029-295-5411	029-295-5883	28年8月31日



コメント（代表取締役 吉澤慎一）

8月18・19日の初期指導研修会を社員全員で受講いたしました。その内容は想像以上に厳しいもので、日頃の業務において甘えていた部分を痛感させられました。しかしながら、その厳しさを乗り越えることで、年々厳しさを増す自動車リサイクル業界で生き残り発展する力を付けられると考え、NGPの正組合員になることを決意しました。今後は組合員の皆様との交流を深めながら、自動車リサイクル部品の生産・販売はもちろん素材リサイクルにおいても生産・販売を拡大し、NGPグループ、そして社会に貢献して参ります。皆様、「よろしくお願いたします」。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社 NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>